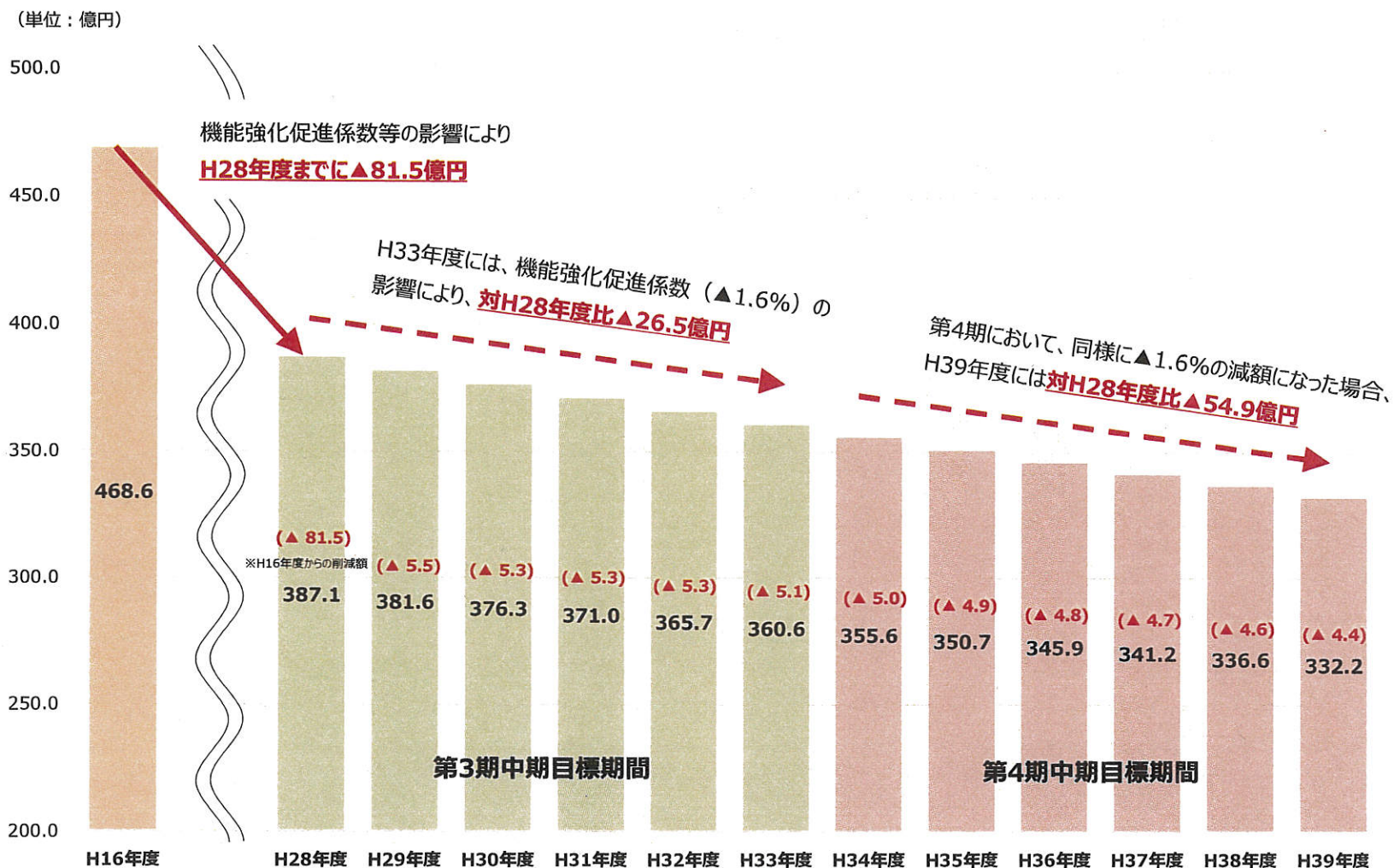


本学における運営費交付金（既定分）に係る今後の見通し



注1) 本資料は、H29年度以降の運営費交付金（既定分）について、機能強化促進係数（▲1.6%）による影響額を加味した予定額を表している。

注2) H29年度以降、上段（ ）書きは、前年度からの削減額である。

本学における基盤的経費に係る今後の見通し（人件費・物件費別）

（単位：億円）

区 分	H16 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
人 件 費	427.9	(▲ 29.8) 398.1	(▲ 3.3) 394.8	(▲ 3.2) 391.6	(▲ 3.2) 388.4	(▲ 3.2) 385.2	(▲ 3.1) 382.1
教 員 人 件 費	265.2	(▲ 17.2) 248.0	(▲ 2.1) 245.9	(▲ 2.0) 243.9	(▲ 2.0) 241.9	(▲ 2.0) 239.9	(▲ 2.0) 237.9
職 員 人 件 費	162.7	(▲ 12.6) 150.1	(▲ 1.2) 148.9	(▲ 1.2) 147.7	(▲ 1.2) 146.5	(▲ 1.2) 145.3	(▲ 1.1) 144.2
物 件 費	463.0	(▲ 51.7) 411.3	(▲ 2.2) 409.1	(▲ 2.1) 407.0	(▲ 2.1) 404.9	(▲ 2.1) 402.8	(▲ 2.0) 400.8
合 計	890.9	(▲ 81.5) ※ 809.4	(▲ 5.5) 803.9	(▲ 5.3) 798.6	(▲ 5.3) 793.3	(▲ 5.3) 788.0	(▲ 5.1) 782.9

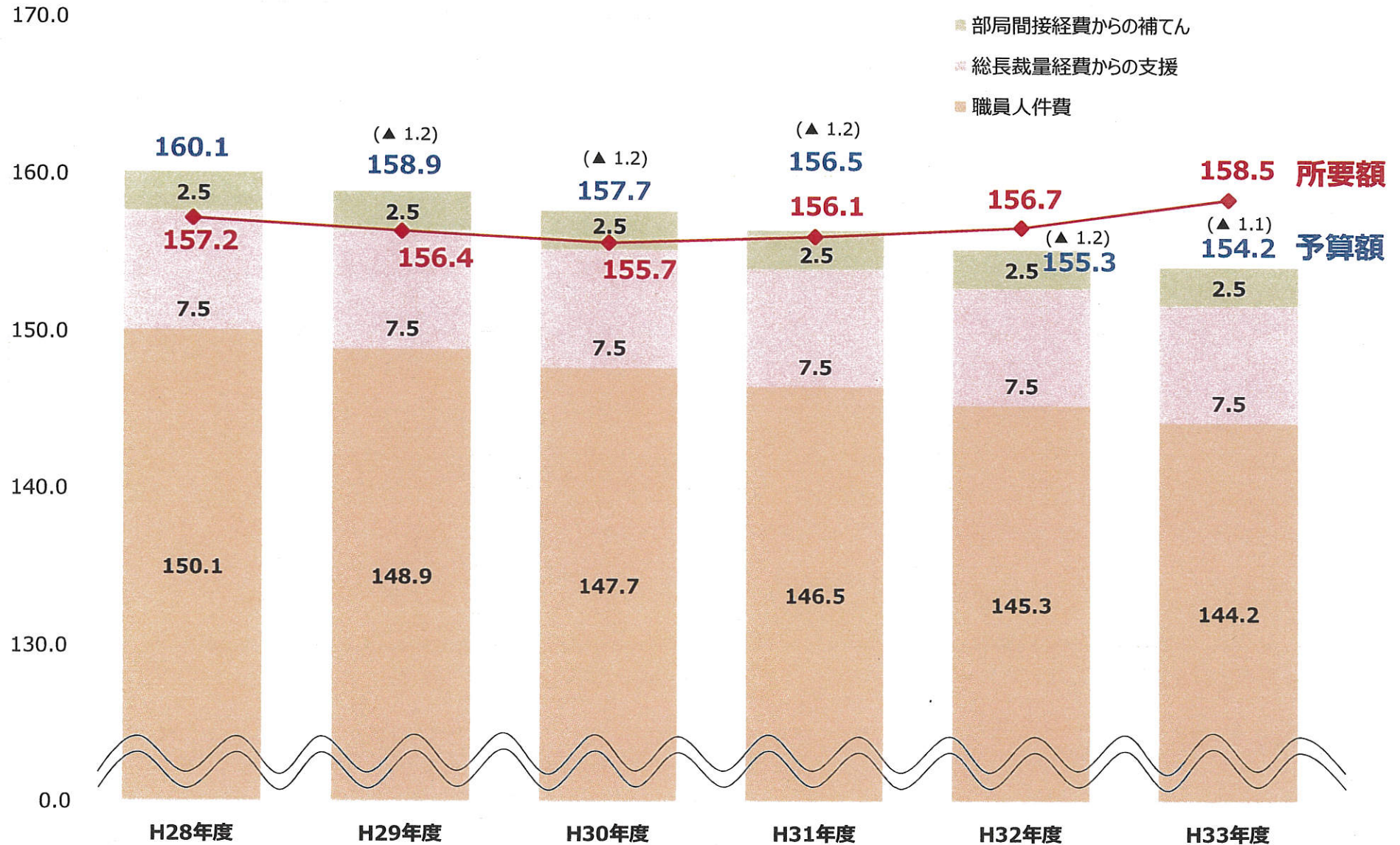
本資料は、第3期中期目標期間における本学の事業規模を以下の条件でシミュレーションしたものであり、今後、文部科学省における運営費交付金算定ルールの変更等により修正する可能性がある。なお、各年度の上段（ ）書きは、前年度との差額である。

- 1) 第3期中期目標期間における機能強化促進係数は毎年度▲1.6%である。
- 2) 機能強化促進分・共通政策課題経費・特殊要因経費及び外部資金（間接経費を含む）は除く。
- 3) 自己収入（授業料収入・附属病院収入等）は、H28年度見込額と同額とする。

※H28年度の合計809.4億円の財源内訳：運営費交付金（既定分）387.1億円、病院収入324億円、授業料等収入98.3億円

第3期中期目標期間における職員人件費予算の見通し

(単位：億円)



注) 各年度予算額の上段 () 書きは、前年度との差額である。